



表紙のこぼれ

3月25日、月見の里学遊館で「こどもいけばな教室」が行われました。昨年8月から始まり、今回の稽古で最終回。受講した小学1～6年生31人には修了証書が手渡されました。

出来栄は、子どもが生けたとは思えないほど見事で、家にさりげなく飾ってあったら素敵だろうなど見ているこちらが楽しくなりました。

110番・119番

3月1日～31日

| | |
|----------|------|
| 交通事故件数 | 73件 |
| 交通事故死者数 | 0人 |
| 交通事故負傷者数 | 103人 |
| 火災件数 | 3件 |
| 救急出動件数 | 205件 |

広報

ふくろい



袋井市の市章

2006年(平成18年)4月15日発行 第26号

編集・発行/
袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係
〒437-8666
静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1
TEL 0538-43-2111(代表)
【ホームページ】
<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>
【携帯サイト】
<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>
【Eメール】
hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

100% 古紙配合率100%再生紙を使用しています

おでかけスポット

国指定重要文化財 油山寺三重塔

油山寺のシンボル

～油山寺の由来～

今から約1300年前の701年(大宝元年)、僧行基が万民の無病息災などを願い、彫刻の本尊薬師如来を奉安し、開いたお寺です。

昔、この山から油がわき出していたので、通称「あぶらやま」と呼ばれています。

～目の霊山～

749年(天平勝宝元年)、孝謙天皇が眼病の治療のため、本尊薬師如来に祈願した「るりの滝」の霊水で目を洗ったところ、眼病が全快したといわれています。

それ以来、特に目の守護、眼病平癒のお寺として、知られています。

<山門>

1659年(万治2年)、掛川城大手門として、井伊直好が建立しました。1873年(明治6年)には、元城主の太田備中守が眼病全快のお礼として、現在の場所に移築しました。

大棟の両側を飾る鯨一対も江戸時代初期の名作であるといわれ、貴重な文化財です。



国の重要文化財に指定(昭和29年9月17日)されている山門



ごりやくまんじゅうを販売
「め」という字が焼き印されています

☎生涯学習課文化財係

☎23-9269

☎油山寺 ☎42-3633



国の重要文化財に指定(昭和29年9月17日)されている三重塔

<三重塔>

1611年(慶長16年)に完成。屋根のそり、枘組みは美しく、桃山時代の3名塔の1つです。

塔の高さは約23m。1967年(昭和42年)、初めて解体修理を行い復元。県内最古の塔です。

<本堂内厨子>

本堂内正面に菊の御紋が入り、金色に輝く宮殿厨子は、今川義元の遺族が寄進。室町時代の名作として、国の重要文化財に指定されています。優美な蛙股は室町時代の特徴を表しています。

1588年(天正16年)に扉の金具などの修理を行った記録が残っています。1967年(昭和42年)、解体修理を行い、建立当初の美しい姿を取り戻しました。

